

10/9 農業就職・転職LIVE

セミナースケジュール

11:00~11:30

農業初心者講座 ~本日のフェアを有効に活用するために~

農業法人に就職希望の方向けに、そのポイントと留意点をお伝えします。また、農業を仕事にするための就農方法や農業法人に就職後農業経営者になるにはどんなことが必要なのか、農業を仕事にと考えている人がすぐに「はじめの一歩」を踏み出すためのセミナーです。

Akusu 農業キャリアコンサルタント 深瀬 貴範 氏



【PROFILE】

1985年株式会社リクルートアロムエー(現リクルートジョブズ)入社。営業・人事(新卒採用・労務管理)・人材斡旋部門でIT業界のキャリアアドバイザーを経て2013年より農林水産省と農業人材の確保について取り組む。株式会社リクルートを定年退職後、フリーランスで農業系の仕事に取り組む。国家資格キャリアコンサルタント、米国CCE,Inc認定 GCDP-JAPAN キャリアカウンセラー

12:00~12:30

貯蓄ゼロ・農業経験ゼロから目指す農業エンターテインメント ~2年半の農業研修で得たもの~

様々な職業を経験し辿り着いた自分らしい働き方、貯蓄ゼロ経験ゼロで飛び込んだ農業。楽しみながら人とのつながりを大切に、技術も知識もトラクターも農具も周囲の人に助けてもらう中で農業を通じて人との調和やコミュニティーの大切さを体にした川崎さんで2年半の農業研修から、自分の目指す有機農業への道面白くお話しします。農業で自分を表現したい方には必見のセミナーです。

はらへこ農園 川崎 祐樹 氏



【PROFILE】

1986年東京都青梅市生まれ。美容師、役者、バーベキュー場、キャンプ場の運営や、屋外音楽フェス出店、ケータリングなどを行うアウトドアイベント業などを経験後、自然の中で食材を取り扱っているにも関わらず、生産の現場を知らないまま多くのフードロスを出すことに違和感を覚え、生産の現場に携わりたいことを決意。約2年半の農業研修後、2020年7月に地元青梅市にて独立就農。研修まで農業経験なし、貯蓄ほぼゼロからの就農。身近な農業、楽しむ農業、農+エンターテインメントを目指す。慣行農業から有機農業へ。

13:00~13:30

アパレル業界・広告代理店から農業法人へのキャリアチェンジ ~コロナの影響でつかんだ心に余裕のある自分らしい働き方~

大手アパレル業界の副店長から人材業界の広告代理店で積み上げたキャリアがコロナ禍で一転、キャリアチェンジを余念なくされ選んだ先は長年パートでイキイキと働く母の勤務する農業法人。農業は伸びていくマーケットと印象はあるものの仕事としての農業は初めて、不安はあったが、入社した(株)開田農園は、伸び伸びとした社風で個人の意見を尊重してくれる働きやすい職場。そんな環境で岡村さんが感じた「時間に縛られ働く、企業に属してない感」「仕事に主体的になり自分自身で考えて行動できる」「仕事に対する責任感」等の前職との違いをお話します。また、コロナ禍のキャリアチェンジが転機となり、今後のキャリアプランとして前職の経験を活かした、自社の採用システム構築や、人が集まる働く環境の整備、など前職の経験、知識をフルに使い社長からの要望にも応えたい岡村さんの思いをお伝えします。

株式会社開田農園 岡村 真吾 氏



【PROFILE】

1991年生まれ、東洋大学卒業後アパレルの(株)AOKIに入社。主にビジネススーツの販売を担当し4年間で5店舗で副店長も経験。その後、インバウンドの仕事だけでなくアウトバウンドの仕事へのキャリア転向で広告代理店に転職しリクルートの求人広告で法人顧客への提案営業を行い、入社3年目でリクルートより売上実績で表彰された。その後、コロナ禍で働く環境やキャリア形成に変化が生じ2021年4月、(株)開田農園に入社。農業法人で働く中で、自然に触れ田舎で働く気持ちよさ、ストレスフリーな農業に魅力的に感じる。現在はネギ圃場の管理業務(除草作業等)を中心に毎日働いている。

14:00~14:30

企業の直営農場の研修教育担当が語る 求める人物像・農業で活躍できる人材

農業総合メーカーとして全国に展開する渡辺パイプ(株)の直営農場「げんき農場」です。「げんき農場」のこだわりトマトは、生育状況を把握できる知識がないと安定した栽培や品質は実現できません。そんな農業を目指す「げんき農場」の研修教育担当の土井さんが語る「求める人物像」「活躍できる人材」をわかりやすく解説します。農業法人での就職を考えている人にはぜひお聞きください。また、「げんき農場」のこだわりの栽培方法や、生産管理の方法などもご紹介いたします。

渡辺パイプ株式会社/株式会社げんき農場 研修教育担当 土井 修治 氏



【PROFILE】

1973年大阪府生まれ、京都工芸繊維大学繊維学部応用生物学科卒業後1997年水耕栽培メーカーにてトマトの多収栽培の試験に従事。2009年八ヶ岳中央農業実践大学校において教諭を行う。「果菜類の圃地指導 土壌」「病害虫管理」の講義を担当。2013年大分県内の農業生産法人にて「栽培計画」「販売計画の立案」を行う総務的立場に従事。2015年渡辺パイプ(株)グリーン事業部にて、「生産者向けの環境制御」のアドバイスと「設備の提案」を経て、現在は「げんき農場」にて、イチゴ、トマトの栽培管理、栽培技術に関する社員教育、生産者からの営農相談を担当。

15:00~15:30

有機農家が教える農業研修活用法 ~色々な農業の始め方があります~

今まで数多くの研修生を受け入れてきた有機野菜を栽培する三自楽農園(さんしらくのうえん)園主の加藤さんが農業研修の様々な形から農業研修の活用方法をお話します。実際にあったうまく行ったケースや、うまく行かなかったケースを原因分析も含めご紹介いたします。これから農業を始めるにあたり研修を考えている人や、どうやって技術を身につけたらいいか悩んでいる人にはベストな内容です。自然を楽しみ、自由を楽しみ、自分を楽しむがモットーの加藤さんが農業研修を通しての農業のかかわり始め方を丁寧に話します。

農業生産法人 有限会社三自楽農園(さんしらくのうえん) 園主 加藤 康二 氏



【PROFILE】

昭和44年12月山崎県生まれ、51歳。都内の金融系システムエンジニアとして就職。2006年春退職し、千葉県にて新規就農を目指す。2006年夏から農園で研修し、2012年から農園を引き継ぎ園主となり、千葉県印西市にて有機野菜(無農薬野菜)の生産・販売を行う。旬に沿った作付けを心掛け、おいしく味のあがる野菜づくりを目指し、お手頃価格の有機野菜をお客様に届けるため日々奮闘。三自楽(さんしらく)農園とは、「自然を楽しむ、農をやるにあたり、目の当たりにする自然の厳しさを素直に受け入れ、逆に楽しむ気持ちを持ち続ける。」「自由を楽しむ。」「どういう働き方をしてもいいし、何を栽培しても、どんな作り方をしても自由。束縛もない。そんな自由を満喫する。」「自分を楽しむ。そんなことを思い実践しようとしている自分を客観的に楽しんでいる。そんな思いで農業を楽しむ。」